

## 質 問 書

2020年9月15日

「(案件名)ソロモン国森林・林業セクター分析に係る情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式))」

(公示日:2020年9月2日/公示番号:20a00279)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P23 第3章 2. 技術提案書作成に係る要件・留意事項 (3)業務従事者の構成	評価対象外団員についても格付けが指示されていますが、これ以外の等級のものを配置することは可能でしょうか。またその場合、「標準経験年数を満たさない格付の提案」等、何か別途資料が必要でしょうか。	JICA 案以外の格付けを提案される場合は、プロポーサルにて説明いただき必要に応じ「標準経験年数を満たさない格付の提案」をご提出ください。
2	P23 第3章 3. 技術提案書作成上の留意点 評価表	今回、指示書に業務管理グループについての記載がありませんが、業務管理グループは結成しても良いでしょうか。また結成した場合、「3. 業務主任者の経験・能力」はどのような配点で評価されるのでしょうか。	記載漏れがありましたが、総合評価落札方式では業務管理グループ(副業務主任)は想定していませんので業務管理グループでの提案は認めません。
3	P.14 6. 実施方針および留意事項 (5) コロナウイルスの影響に伴う対応 7. 業務の内容 (3) 現地業務期間(2021年1月上旬～2月上旬を想定)	7. (3)「現地業務期間(2021年1月上旬～2月上旬を想定)」と記載されているが、一方で6. (5)に「現地渡航の見通しが見つからない場合には、遠隔作業の可能性について発注者・受注者の協議により、受注者は具体的な活動計画を作成し、両者間にて合意する」と記載されている。 現時点(2020年9月)で貴機構は2021年3月末までソロモン含む全世界でコンサルタントの短期渡航を見合わせる方針を出しているため、2021年1月上旬～2月上旬の現地業務は困難と思われるが、現時点の状況に合わせて現地業務を国内業務に振替えて実施する案を提案する必要があるか。	業務計画については、渡航再開を2021年4月と想定して見直しを依頼しているところではありますが、実際の渡航時期については検討中のため、プロポーザルでは入札説明書に記載の通り2021年1月上旬～2月上旬の渡航を想定してご提案ください。

4	P.26 3. 定額で計上する経費	航空賃について、1,524,000 円の定額になっていますが、経路としては、成田発で問題ないでしょうか。内国旅費を計上すべきか、ご教示いただけますと幸いです。	経路は東京(羽田/成田)-ホニアラを想定しております。内国旅費については、2020 年 4 月の制度改革で廃止となりましたので、計上は不要です。
---	----------------------	---	--

以上